



十中だより

令和3年1月15日
文責 奈加晃典

めざす生徒像

- ☆自ら進んで学び、考えて行動できる生徒(確かな学力)
- ☆勤労と責任を重んじ、礼儀正しく協力できる生徒(豊かな人間性)
- ☆自他の生命を尊重し、心身を鍛える生徒(健やかな体)

校訓

自主 協働 剛健

新年あけましておめでとございます

いよいよ2021年(令和3年)が始まりました。

2学期の終業式に話したように令和2年の締めくくりとして、また2学期の締めくくりとして、しっかりとチェックをして、新たな計画を立てることができましたか？

3年生はいよいよ受験が始まろうとしています。今まではエスカレーターでここまで登ってこれましたが、ここからは自分の力で切符を手にしないと進めません。最後の最後まで、あきらめることなくやれるだけやってみましょう。

「やればできる」の裏返しは「やらないきゃできない」です。とにかくやってみることに遅すぎることはありません。もし、昨年までの努力が足らなかったと思えるのなら、今からでもやってみることで、やらないよりははずっといいはず。

右に行こうか、左に行こうかと悩むことは誰しもあります。しかし、評価というものは後にならないと出てこないものなのです。右に進んだ結果や、左に進んだ評価は、決断するときには判断できないのですから、そう決めた自分を信じて頑張ることが大事です。どちらに進むほうがよかったかを先に知ることはできません。そのことをくよくよ考えるよりも決断したことに頑張ることこそが、良い結果につながるのだと思います。

かの有名な松下幸之助さん(パナソニックの創設者)がこう言われています。

竹には「節」がある。あの節があるからこそ、やわらかいはずの竹が折れることなく風雪に耐えることができる。

人も、節目という時が必ずあるのだから、その時にしっかりと物事を考え見極めることがとても大事だとおっしゃっています。

また、上手く行かなかった時のことが、節のように自分の中に刻まれていることもあるでしょう。でもその節があったからこそ、今強くなれている自分があるとも言えると思います。

1年のはじまりとしての節目、3学期としての節目もあります。

3年生は人生で初めての大きな節目を迎えます。いい意味での「節」として自分の中に刻まれるよう、頑張りましょう。



学校評価アンケートありがとうございました

昨年末に各家庭にお願いしておりました評価アンケートの集計ができました。裏面に、各家庭の集計と生徒の集計を載せさせていただきます。

いただいた評価を真摯に受け止め、今後の学校経営に活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。最終の学校評価につきましては、ホームページ上でも公開しようと思っておりますので、年度末には是非ご覧いただけますよう、よろしくお願いたします。

特に気になる項目ですが、保護者・生徒ともに4番の「学校の課題は、家庭学習の習慣化につながっているか」という項目において、約半数があまりあてはまらない、全くあてはまらないとなっています。宿題というものが、直接家庭学習の習慣化につながるかどうかという問題もありますが、そこは来年度に向けて設問の設定についても再考の余地があると考えています。しかしながら、少なくとも進学塾等に通にくい状況の中では、かなりの家庭学習の時間が必要だと思っております。その分、本校の教員もできる限り個々の生徒の勉強に寄り添い、質問等にも時間をかけて取り組んでいきますので、各家庭におかれましても、机に向かうことを習慣化できるよう、お願いいたします。

中学生全体での家庭学習の平均時間については、ベネッセが調査したところ、1時間未満が40% 1時間半が20% 2時間以上が40%となっています。あくまで全学年の平均ですので、3年生ではもっとすべきであろうと思っております。また、長期休業中については、もっと時間をとるべきであろうとも思っております。個々それぞれの現在の成績と、目標によって勉強時間も変化するので、一概には言えませんが、平日で2時間は確保すべきであろうと思っておりますので、各家庭でも今一度お子さんと話し合ってください、学習時間の見直しを図っていただきたいと思います。

来年度の学校評価アンケートの記入につきましては、若干の変更を考えています。いただいた評価は真摯に受け止め、PDCAサイクルに乗っ取り、改善をしていくわけですが、「まったくあてはまらない」というご意見に関しては、その理由をお書きいただければ幸いです。数字のみを受け止めるのではなく、なぜそうなのかという理由をお聞かせいただき、次に活かしていきたいと考えますので、お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



- 1 学校は、授業時間を十分確保し、実施している。
- 2 学校は、生徒の学習状況や評価の仕方を懇談や通知票などで分かりやすく伝えている。
- 3 学校は、分かりやすい授業を追求している。
- 4 学校の課題(宿題)は、生徒の家庭学習の習慣化につながっている。
- 5 月曜日の放課後(月数度)に実施している『学力アップタイム』は、生徒にとって有意義な時間になっている。
- 6 体育の授業や体育的行事は、生徒の運動への親しみや基礎体力の向上につながっている。
- 7 総合的な学習の時間は、生徒が意欲的に学ぶ活動になっている。
- 8 学校は、行事や授業などで様々な工夫をして、生徒の成長に繋げようとしている。
- 9 学校は、規則正しい生活を心がけるよう呼びかけている。
- 10 学校には、いじめを許さない姿勢がある。
- 11 生徒会活動は、生徒が主体性に取り組める活動になっている。
- 12 体育大会・文化祭・校外学習などの学校行事は、生徒にとって価値ある活動となっている。
- 13 部活動は、生徒にとって有意義な時間となっている。
- 14 学校は、生徒の将来の生き方(進学・就職等)について系統立てた適切な指導を行っている。
- 15 学校は、生徒の悩みや不安に親身になって相談ののってくれている。
- 16 家庭訪問や三者面談は、生徒や保護者にとって有意義な時間となっている。
- 17 学校は、道徳の時間やその他いろいろな場面で生徒の道徳性を育てようとしている。
- 18 道徳の授業は、生徒にとって有意義な時間になっている。
- 19 学校は、生徒に命を大切にする意識を育てようとしている。
- 20 学校は、発達段階に応じて生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている。
- 21 学校は、生徒に特別支援教育についての理解を深めさせようとしている。
- 22 学校は、生徒に健康の大切さを日頃から指導している。
- 23 学校は、健康診断の結果等を分かりやすく伝えている。
- 24 学校は、校内全般に整備・美化がいきとどいている。
- 25 学校は、生徒に災害が起こった場合の避難経路や正しい避難方法を指導している。
- 26 学校は、学校の情報を学校・学年だより、ホームページ等で保護者に伝えている。
- 27 学校は、家庭・PTA・地域と連携している。
- 28 学校は、新型コロナウイルス感染症対策にしっかり取り組んでいる。

全保護者



- 1 学校は、授業時間を十分確保し、実施している。
- 2 学校は、評価の仕方についてきちんと説明している。
- 3 学校は、分かりやすい授業を行っている。
- 4 学校の課題(宿題)は、家庭学習の習慣化につながっている。
- 5 『学力アップタイム』は、あなたにとって有意義な時間になっている。
- 6 体育の授業や体育的行事は、運動への親しみや基礎体力の向上につながっている。
- 7 総合的な学習の時間では、主体的に取り組んでいる。
- 8 学校は、行事や授業などで様々な工夫をして、あなたの成長に繋げようとしている。
- 9 学校は、規則正しい生活を心がけるよう呼びかけている。
- 10 学校には、いじめを許さない姿勢がある。
- 11 生徒会活動では、主体的に取り組んでいる。
- 12 学校行事を通して、あなた自身が成長できている。
- 13 部活動は、あなたたちにとって有意義な時間となっている。
- 14 学校は、将来の進路や職業などについての学習を積極的に進めている。
- 15 学校は、あなたに寄り添い、悩みや不安を聞く体制をつくっている。
- 16 二者面談や三者面談は、あなたにとって有意義な時間となっている。
- 17 学校は、道徳の時間やその他いろいろな場面であなたの道徳性を育てようとしている。
- 18 道徳の授業は、あなたにとって有意義な時間となっている。
- 19 学校は、命を大切にする指導を行っている。
- 20 学校は、人権を尊重する学習を大切にしている。
- 21 学校は、特別支援教育について正しく理解する学習をしている。
- 22 学校は、健康を大切にされた指導を行っている。
- 23 学校は、健康診断の結果等を分かりやすく伝えている。
- 24 学校は、校内全般に整備・美化がいきとどいている。
- 25 学校は、災害が起こった場合の避難経路や正しい避難方法を指導している。
- 26 学校は、学校の情報を学校・学年だより、ホームページ等で保護者に伝えている。
- 27 中高合同文化講演会は、あなたにとって有意義な時間となっている。(3年生のみ)
- 28 学校は、新型コロナウイルス感染症対策にしっかり取り組んでいる。

全生徒

